感染管理認定看護師の紹介

R5.8.28　発行

永年会員会長表彰

令和５年６月１８日
福井県看護協会から、
「永年会員会長賞」
を受賞されました。
長年に渡り、看護の
発展のために尽力さ
れた会員に贈られる
名誉ある賞です。

やりがいは何ですか？

看護師は生涯学習と言われていますが、自分次第でいろんなことが学べ、看護師としての専門性も極められます。認定看護師として活動では、院内においても、地域の活動においても、微力ながらも力になれたと感じた時、そこにやりがいを感じます。

感染管理認定看護師になるまで

看護師人生の半分以上を手術室看護師として、患者に安心して、安全に手術を受けて頂くための準備と介助、看護を行ってきました。消化器外科や整形外科病棟等では、手術室で学び培った知識・技術を活かしながら、術前術後の看護を行ってきました。

副看護師長会メンバーと記念写真

感染管理認定看護師の仕事を教えてください

感染症が発生した場合に周囲へ感染を最小限に抑えることが役割であり、学んだ知識や技術を教えること、患者や職員からの質問・疑問に答えること、感染対策を行うことが主な仕事です。保健所と連携して、施設の感染対策ラウンドも実施しています

井上感染対策室長（副院長）より

福井県内の主な基幹病院にはインフェクションコントロールナース（日本語で感染管理認定看護師という：以下ICNと略す）がいるのをご存じでしょうか？当院は嶺南地区でいち早くICNが誕生した感染制御の部門では歴史ある病院で、隨原さんは２代目ICNとなります。

病院での職務内容としては、院内感染につながる病原体の発生状況に日々目を配り、病棟で発熱者が急に増えていないか、また同じような症状の患者さんが出ていないか注視しています。感染予防には職種を超えた協力体制が必要になりますが、連携がスムーズに行えるようコーディネートすることも大切な役割の１つです。

このように隨原さんは、院内感染対策の通信メンバーであり、何かの事情で休むと病院機能に支障が出るリスクさえあります。そこで毎日多忙な隨原さんに続くICNの養成が急務となってきております。感染症に興味のある看護師さん、隨原さんのようなICNを目指しませんか。

【経歴】
隨原さとえ感染管理認定看護師
（副看護師長）
1991年　入職
2006年　副看護師長昇任
2017年　感染管理認定看護師
院内の感染予防対策の普及、
感染研修、感染症対策に従事
座右の銘：雨だれ石を穿つ
（地道にこつこつ）

スミレの花言葉は「誠実」「謙虚」「小さな幸せ」